



平成 23 年 8 月 2 日

安心社会の構築に向けたリハビリテーションを考える議員連盟

会長 前田 武志 様

社団法人日本理学療法士協会

会長 半田 一登

社団法人日本作業療法士協会

会長 中村 春基

一般社団法人日本言語聴覚士協会

会長 深浦 順一

診療報酬および介護報酬の同時改定におけるリハビリテーション供給体制の見直しについて
(要望)

日頃より我々の活動にご理解をいただき心より感謝しております。

平成 21 年度の介護報酬改定では、リハビリテーションにおける医療保険等との整合性を図られ、リハビリテーションに重点を置いた評価をいただきました。また、平成 22 年度の診療報酬改訂においても、リハビリテーションにつきましては高い評価をいただきました。その期待に報いるために、リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）として努力をしているところです。そして、我々3団体は、平成 24 年改定に向けて、広く国民へのサービスの普及を念頭に置いた検討を重ねてまいりました。今回は、リハビリテーション提供体制について、医療保険と介護保険における、リハビリテーションの機能連携に重点を置いた要望とさせていただきます。とりわけ、訪問リハビリステーションの設置は、喫緊の課題と考えております。

ご支援のほどを心よりお願い申し上げます。